



道

学校の教育目標
「ともに学び、
心豊かで
たくましい
子供の育成」

けやきの木のように

校長 宮島 和生

4月も末を迎え、始業式のときには満開だった桜も、若葉を付け始めています。

4月7日（火）の入学式では、59名の1年生を迎え、全校児童374名が学校生活をスタートさせました。「おはようございます」という元気な挨拶が聞けたのも、わずか1週間足らずで休業措置に入ることとなり、残念な思いで一杯です。保護者の皆様には、急なお知らせにもかかわらず、家庭にて様々な対応をしてくださり、どうもありがとうございました。5月6日（水）まで、休業が延長となりましたが、子供たちの命と健康を守ることを最優先としていきたいと思えます。なお、休業期間中、各学年から課題を出させていただいておりますが、その他の学習支援についても職員間で話し合い、できることから進めております。今後も、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、本校では、今年度も「ともに学び、心豊かでたくましい子供の育成」を学校教育目標とし、以下を育てたい子供像としています。

けんこう…心身共に健康で、粘り強くがんばる子供

やさしさ…仲良く助け合い、励まし合う子供

きんべん…自ら問題をとらえ筋道を立てて考える子供

皆様もご存知のように東部小学校のグラウンドには、大きく立派なけやきの木があります。これは、創立時に植えられたもので、学校を象徴する樹木となっています。そこで、始業式の日、子供たちに以下のような話をしました。

○自分磨きができる東部っ子になってほしい

けやきの木は、硬くてとても木目が美しく、昔から家や家具をつくる材料として利用されてきました。しかし、切っただけのけやきの木は、そんなに美しくありません。ところが、その木を磨くことによってツヤが出て、もともと持っている木目がとても美しく現れます。自分を磨く（自分のよいところをもっとよくするために、どんな努力をすればよいかなど考え実行する）ことで、東部っ子には、素敵な自分になって、まわりから頼りにされるようになってほしいと思っています

○人に優しい東部っ子になってほしい

けやきの木のもう一つの大きな魅力といえば、たくさんの葉をつけて風や雨を防いだり、緑や黄色、赤色に葉の色を変えて、私たちの目を楽しませたりやさしい気持ちにさせたりしてくれることです。東部っ子に置き換えると、友達を支えてあげたり、元気にしてあげたり、まわりの人に、あたたかい言葉をかけたりすることができるようになってほしいと思えます。

私たち40名の教職員も、けやきの木のように子供たちを支え、厳しさだけでなく、時にはけやきの葉のように子供たちを守り、楽しませることができるよう、心を一つにしてがんばって参ります。

保護者の皆様、地域の皆様には、今後のご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

